

第3回

Jam  
公募展



## 審査結果

全日本画材協議会主催「第3回 Jam 公募展」は、11月15日に応募が締め切られ、全国から341点の作品が寄せられました。12月12日に厳正なる審査が行われ、48点が入賞しました（次ページ表参照）。その中から大賞1点、審査員特別賞（大賞に匹敵する優秀作）3点の受賞が決まりました。また、56点が入選を果たしました。

審査委員長：川見良夫（全日本画材協議会会長） 審査委員：弓手研平（洋画家・一水会常任委員）、nao morigo（画家）、全日本画材協議会常任理事7名

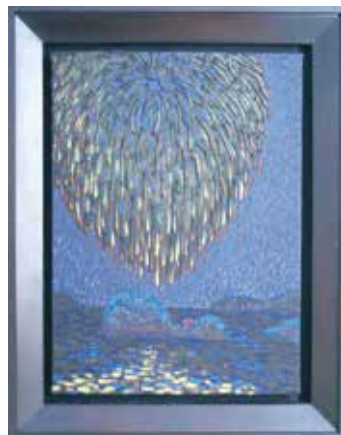
### JAM大賞

宮田美恵子『家路』



### 審査員特別賞

白髭松子  
『てんのうさん(天王祭)』



### 審査員特別賞

泰裕深  
『KEYAKI street』



### 審査員特別賞

渡邊照夫  
『郷愁』



第3回

Jam

公募展



# 審査結果

## 「第3回Jam公募展」入賞者

賞	氏名	作品名
JAM 大賞	宮田美恵子	家路
審査員特別賞	白髭松子	てんのうさん (天王祭)
審査員特別賞	崇 裕深	KEYAKI street
審査員特別賞	渡邊昭夫	郷愁
メーカー賞 (44作品)	アコ・ブランス・ジャパン 賞	伊藤洋子 収穫時
	アルス色彩工業 賞	船井移津子 路面電車で帰る
	アルテ 賞	平松幸雄 冬の木曾川
	伊研 賞	山下彩奈 ハス池の見える牧場
	一休園 賞	春沢雄二 藤棚
	USUI BRUSH 賞	一瀬千佳子 長崎小夜曲
	上羽絵惣 賞	中村幸彦 郵便ポスト
	王冠化学工業所 賞	宮本浩子 長崎の町はレンガ色
	オリジン 賞	松尾正直 小さな橋
	吉祥 賞	垣見真由美 冬里
	クサカベ 賞	酒井昭輝 夏の遊び場
	彩画堂 賞	西本富雄 港にて
	サムトレーディング 賞	森下益生 僕はきっと旅に出る
	新日本造形 賞	對馬基起 幸の川沿いの村
	大日本美術工芸 賞	国光美津恵 雨ふる
	田中金華堂 賞	中川淳子 灯台のある町
	ターナー色彩 賞	野田眞章 雨あがり一閑宿
	谷口松雄堂 賞	村中恵子 田うえ
	ターレンスジャパン 賞	指田葉月 海辺の白い家
	チャコペーパー 賞	小林章人 早春の今川
	デリーター 賞	石崎将浩 赤く染まる
	同志舎 賞	牛房美穂子 風の街
	ナカガワ胡粉絵具 賞	渡辺美弥 滝又の滝
	中里 賞	大田玲子 田植えおわかりました。
	那須野画材工業 賞	清水壺愼 鳴門の渦潮
	名村大成堂 賞	舟田治彦 川べりを歩いて
	ニッカー絵具 賞	駒田妙子 昔交番 今観光番
	日本色研事業 賞	鎌田 優 眺閑亭からの閑宿
	パジコ 賞	高戸章暎 小荒島岳の秋
	バニーコルアート 賞	川本敬子 冷えた朝
	バンコ 賞	奥野奈緒子 小さな緑の世界にて
	美術出版エデュケーション 賞	清宮ルリ子 「廻れ！廻るよ三連水車」
	福岡工業 賞	渡邊三次 静秋
	文房堂 賞	藤井 弘 くれないのローカル線
	墨運堂 賞	清水菜央 鹿威しのある風景
	ホルベイン画材 賞	安藤健二 日吉丸と仲間が集う神域
	ホルベイン工業 賞	水流園揚子 桜島悠久
	松田油絵具 賞	津久井洋平 静和の景
	マルオカ工業 賞	洲崎悠一 雪の阿蘇山
	丸善美術商事 賞	黒津明子 社
	マルマン 賞	渡邊士郎 夏・早朝の宇島漁港
	道刃物工業 賞	松本潤子 紙の神様のお祭りだ！
	ミューズ 賞	赤本義雄 寒暮
	ラーソン・ジュール・ニッポン 賞	山下恒夫 宵の鴨川

▼入選者 / 受賞作品展

第3回

Jam

公募展



「第3回Jam公募展」入選者

藤井淑子 正木はるみ 高木真 江原徹翁 鴨井清 内田喜久子  
 岡川夕美子 今村紀代子 松崎由香里 尾島敏子 藤井妙子  
 小田正弘 伊佐治孝夫 小澤教子 渡辺啓子 出井伸明 前田寿人  
 豊田陽男 駒井直子 山口泰子 鹿間剛 高山多美子 奥田光雄  
 内田英一 藤谷尚希 山口正弘 三谷清子 山崎雅可 生川礼子  
 金丸竹子 松林淑 表満喜子 井戸崎宥 馬場隆夫 西村不可止  
 内藤建吾 桧山浩一 橋詰真由美 小泉洋司 新土和彦 知久輝  
 杉浦和彦 阿部雅子 村山茂夫 七里亨司 一之瀬尚文 佐藤連理  
 吉田進 川合百利子 宗澤正藏 栗林照一 箭原敏弘 杉戸幸一  
 野沢充 山口蒼平 杉森康彦 (以上 56 名・順不同)

受賞作品展

「第3回Jam公募展」受賞作品展を下記の通り開催、全国の全日本画材協議会会員店のギャラリーを巡回いたします。お近くの会場では是非ご覧ください。会場の住所・地図は全日本画材協議会のサイト「絵を描く.com」(<http://www.eokaku.com>)でご確認ください。

会期	会場 (場所 電話)	開廊時間	休日
2018年 1月9日(火)~1月25日(木)	ホルベイン・ギャラリー (大阪市中央区 Tel 0120-941-423)	11:00~18:00 (最終日15:00)	日曜・祝日
1月29日(月)~2月3日(土)	文房堂ギャラリー (東京都千代田区 Tel 03-3291-3445)	10:00~18:30 (最終日16:00)	無休
2月8日(木)~2月15日(木)	詩季画材 (群馬県前橋市 Tel 027-224-5196)	10:00~17:00 (最終日15:00)	水曜、 第三火曜
2月20日(火)~2月25日(日)	ギャラリー青葉(青葉画荘) (宮城県仙台市 Tel 022-266-4225)	9:30~18:30 (最終日16:00)	無休
3月10日(土)	2018 TOKYO画材ショー (東京都豊島区 Tel 090-9049-7770)	10:00~16:00	
3月15日(木)~3月18日(日)	ギャラリー・アートフォース(八戸彩画堂) (青森県八戸市 Tel 0178-24-4222)	10:00~18:00 (最終日17:00)	月曜
3月23日(金)~3月27日(火)	キレイ堂画廊 (富山県富山市 Tel 0764-25-2875)	10:00~17:00	無休
4月2日(月)~4月15日(日)	ギャラリー彩光舎 (埼玉県さいたま市 Tel 048-822-9952)	11:00~18:00 (最終日16:00)	無休
4月24日(火)~5月6日(日)	art space定禅寺ギャラリー(えかきや画材) (宮城県仙台市 Tel 022-225-7647)	10:00~18:00 (最終日15:00)	無休
5月15日(火)~5月27日(日)	彩雲堂 (愛知県岡崎市 Tel 0564-21-4844)	9:30~17:00	月曜
6月3日(日)~6月11日(月)	中井三成堂画廊 (兵庫県姫路市 Tel 0792-82-1575)	10:00~19:00 (最終日16:00)	火曜
6月22日(金)~7月1日(日)	井ザワ画房 (福井県福井市 Tel 0776-33-5380)	9:00~19:00 (最終日17:00)	第3日曜
7月4日(水)~7月11日(水)	ひまわり画材 (埼玉県新座市 Tel 048-480-5747)	10:00~20:00	無休
7月19日(水)~7月22日(日)	山本文房堂画廊 (福岡県福岡市 Tel 092-751-4342)	10:00~19:00 (最終日16:00)	第3月曜





## 審査評

「第3回 Jam 公募展」の審査にあられた弓手研平（洋画家・一水会常任委員）、nao morigo（画家）両氏から「審査評」をいただきました。

### 弓手研平（ゆんで けんぺい／洋画家・一水会常任委員）

私の琴線にふれる『みんなに知ってほしい地元の風景』というテーマ。「Jam 公募展」では、それを絵に描こうと訴求しています。

絵に描く行為からは、作者の心のフィルターを通して画面に滲む郷土の温もりに鑑賞者は癒されます。それはぼんやりとした画面でも、ゴツゴツとしていても、形が分からない抽象的な表現であったとしても。昨今の現場取材では、デジカメやスマホカメラの人間技を超えた視力の力で様々な恩恵を絵描きさんも享受しています。しかしそこには肉眼で見て心で感じる温もりを、しばしば見失ってしまう危うさもあります。

そんな中、今回の「Jam 公募展」大賞の宮田美恵子さんの『家路』は、都会の華やかさの中に居る作者のワクワク感が、赤基調の鮮やかな色彩と抽象的マチエールにより『作者はこの場所で感激している』と強く共感しました。また特別賞の作品も、それぞれ作者の心を通して絵に描いてこそ伝わる温もりが額縁の中に感じとれました。

このデジタル社会において、気軽にアナログの温もりに浸れる絵を描くという恩恵を、大いに発信している「Jam 公募展」が益々盛り上がっていることを嬉しく思います。



### nao morigo（なお もりごう／画家）

皆様の絵画技術は非常に高度で、それぞれに良さがあり審査はとても難しいものでした。

皆が見慣れている風景の中でも、独自の視点・独自の世界観が表現でき、それが画面の中で生きているもの。そう言った点を評価して審査させて頂きました。

中には、作品は良かったのですが規定の条件に沿っていなくて落選した方もいらっしゃいます。

受賞をしなかった作品の中でも魅力の多いものは沢山ありましたので、これからも皆様の素直な感覚で沢山絵を描き続けて欲しいと思います。

次の応募作品も楽しみにしています。



2017年12月12日の審査風景

